

試験会場番号		
--------	--	--

# サンプル問題

## 社会福祉法人経営実務検定試験

### 問題用紙

## 会計3級

(令和〇年〇〇月〇日施行)

- ◇問題用紙及び解答用紙の指定の欄に試験会場番号・受験番号と氏名を記入してください。  
解答用紙には所属も記入してください。
- ◇受験票を机の通路側に見えるように置いてください。
- ◇机の上には筆記用具、電卓、腕時計、受験票以外は置かないでください。
- ◇会場内では携帯電話の電源をお切りください。
- ◇解答は楷書で明瞭にご記入ください。文字の判別ができない場合や誤字・脱字・略字は不正解とします。
- ◇解答欄には解答以外の記入はしないでください。解答以外の記入がある場合には不正解とします。
- ◇金額は3位ごとにカンマ「,」を記入してください。3位ごとにカンマ「,」が付されていない場合には不正解とします。
- ◇使用する勘定科目は特に別段の指示のない限り、必ず裏表紙の注意事項に記載の勘定科目を使用してください。同じ意味でも裏表紙の注意事項に記載の科目を使用していない場合は不正解とします。
- ◇検定試験は各級とも1科目100点を満点とし、全科目得点70点以上を合格とします。ただし、各級・各科目とも、設問のうちひとつでも0点の大問がある場合には不合格とします。
- ◇試験時間は11:00から12:00までの60分です。
- ◇途中退室は11:30から11:50の間には可能です。途中退室された場合は再入室することはできません。なお、体調のすぐれない方は試験監督係員にお申し出ください。
- ◇試験開始時間までに、裏表紙の注意事項もお読みください。
- ◇問題用紙・解答用紙・計算用紙はすべて回収し、返却はいたしません。
- ◇問題と標準解答を12月〇日(月)午後5時に、(一財)総合福祉研究会ホームページにて発表します。
- ◇合否結果は1月中旬ごろインターネット上のマイページで各自ご確認ください。なお、個別の採点内容や得点等についてはお答えいたしかねますのでご了承ください。
- ◇合格証書は2月初旬ごろご自宅に発送いたします。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

**1** (20点)

「社会福祉法人会計基準」、「社会福祉法人会計基準の運用上の留意事項」及び「社会福祉法人会計基準の制定に伴う会計処理等に関する運用上の取り扱いについて」についての次の文章の空欄にあてはまる適切な語句を下に示す語群の中から選んで答えなさい。

(1) 支払資金は、(ア)及び(イ)(経常的な取引以外の取引によって生じた債権又は債務のうち貸借対照表日の翌日から起算して一年以内に入金又は支払の期限が到来するものとして固定資産又は固定負債から振り替えられた(ア)又は(イ)、(ウ)及び棚卸資産((エ)を除く。)を除く。)とし、支払資金残高は、当該(ア)と(イ)との差額とする。

(2) 資金収支計算書は、次に掲げる収支に区分するものとする。

①(オ)による収支 ②(カ)による収支 ③(キ)による収支

(3) 事業活動計算書は、当該会計年度における全ての(ク)の増減の内容を明瞭に表示するものでなければならない。

(4) 貸借対照表は、当該会計年度末現在における全ての(ケ)、(コ)及び純資産の状態を明瞭に表示するものでなければならない。

(5) 簿記の一巡の手続きでは、取引を仕訳帳や会計伝票に記録し、すべての取引を勘定科目別に集計した(サ)に転記し、試算表を作成する。

(6) 減価償却は耐用年数が1年以上、かつ、原則として1個若しくは1組の金額が(シ)万円以上の(ス)固定資産及び(セ)固定資産を対象とする。なお、(ソ)など減価が生じない資産については、減価償却を行うことができないものとする。

減価償却の方法としては、(ス)固定資産については(タ)法又は(チ)法のいずれかの方法で償却計算を行う。た、ソフトウェア等の無形固定資産については(タ)法により償却計算を行うものとする。

(7) 法人は、(ツ)をもとに資金収支予算書を作成するものとし、資金収支予算書は(テ)区分ごとに収入支出予算を編成することとする。また、資金収支予算書の勘定科目は、資金収支計算書の勘定科目に準拠することとする。

法人は、全ての収入及び支出について予算を編成し、予算に基づいて事業活動を行うこととする。

なお、年度途中で予算との乖離等が見込まれる場合は、必要な収入及び支出について(ト)を編成するものとする。ただし、乖離額等が法人の運営に支障がなく、軽微な範囲にとどまる場合は、この限りではない。

(語群)

資産	負債	収益	費用	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産	サービス活動	特別増減					
サービス活動外	事業活動	施設整備等	その他の活動	引当金	賞与引当金	退職給付引当金	精算表	総勘定元帳	決算書	当期資金収支差額	当期活動増減差額	当期末支払資金残高	次期繰越活動増減差額		
1	3	5	10	20	有形	無形	土地	建物	定額	定率	直接	間接	借入金償還計画	事業計画	事業
長期計画	拠点	サービス	当初予算	補正予算	貯蔵品										

**2** (20点)

次の取引についての仕訳をしなさい。

ただし、使用する勘定科目は最終ページに記載されている貸借対照表科目及び事業活動計算書科目から選択しなさい。

- (1) 令和4年8月サービス提供分の介護報酬500を8月31日付で計上した。
- (2) 給与支払いに係る源泉所得税50を普通預金から納税した。
- (3) 設備資金借入金800を利息20とともに普通預金から支払った。
- (4) コピー機60（固定資産計上が必要）の代金とともに、コピー用紙代金5を支払った。
- (5) 帳簿価額10の車両を廃棄処分した。
- (6) 職員の出張のため、見込まれる必要額8を先に本人に手渡した。後日、電車代6の領収書とともに2の返金を受けた。
- (7) 決算時に翌期の賞与支払いに充てるため、引当金300を計上した。
- (8) 正職員の俸給1,050と非常勤職員の俸給480から社会保険料160を預かり、残りを普通預金から支払った。
- (9) 設備整備を目的とする寄附金100を受け入れた。
- (10) 前月に未払計上した業務委託費43を普通預金から支払った。

**3** (20点)

次の取引につき、資金収支計算書・事業活動計算書のそれぞれに計上されるもの、計上されないものがある。計上されるものには○、計上されないものには×を記入しなさい。

- (1) 翌月分の事務所家賃を大家に支払った。
- (2) 器具備品に計上していたカラオケ機器が故障したため、廃棄処分した。
- (3) 園庭に設置する遊具（固定資産）を購入・設置した。
- (4) 30年返済の設備資金借入金が入金された。
- (5) 当月分の設備資金借入金を返済表通り支払った。
- (6) ソフトウェアの減価償却費を計上した。
- (7) 修繕積立金を積み立て、同時に普通預金から定期預金に当該資金を移動した。
- (8) 国庫補助金等特別積立金を取り崩した。
- (9) その他の未払金に計上していた、大規模修繕代金を支払った。
- (10) 職員の健康診断費用を事業未払金に計上した。

**4** (40点)

次の令和4年3月の取引の仕訳を解答用紙の元帳に転記したうえで、「差引残高」欄の金額も記入しなさい（金額単位は省略している）。なお、「摘要」欄には仕訳の相手科目を記入し、相手科目が複数の場合は「諸口」と記入しなさい。また（ ）の金額は各自推定しなさい。ただし、各勘定を締め切る必要はなく、取引合計を記入する必要もない。

【仕 訳】

取引日	借方		貸方	
	科 目	金 額	科 目	金 額
1日	事務消耗品費	235	現金預金	235
3日	現金預金	1,000	未収補助金	1,000
10日	1年以内返済予定設備資金借入金 支払利息	6,500 ( )	現金預金	7,135
15日	車輛運搬具	896	その他の未払金	896
17日	車輛費	453	現金預金	453
18日	現金預金	800	経常経費寄附金収益	800
20日	職員給料 非常勤職員給与	3,250 1,295	現金預金 職員預り金	4,025 ( )
20日	派遣職員費	1,100	事業未払金	1,100
31日	業務委託費	785	事業未払金	785
31日	事業未収金	7,575	介護保険事業収益	7,575
31日	減価償却費	480	基本財産・建物 車輛運搬具	420 60
31日	事業未払金	530	現金預金	530

**注意事項**

- ◇この問題用紙及び解答用紙の中では、「社会福祉法人会計基準」（平成28年3月31日／厚生労働省令第79号）と、「社会福祉法人会計基準の制定に伴う会計処理等に関する運用上の取扱いについて」（平成28年3月31日／雇児発0331第15号・社援発0331第39号・老発0331第45号）及び「社会福祉法人会計基準の制定に伴う会計処理等に関する運用上の留意事項について」（平成28年3月31日／雇児総発0331第7号・社援基発0331第2号・障障発0331第2号・老総発0331第4号）を総称して、「会計基準」と表記している。解答に当たっては、令和4年4月1日現在の「会計基準」に基づいて答えなさい。
- ◇問題は大問1から大問4までであるので注意すること。なお、問題文は金額単位を省略して表示しているので、特に指示のない限り、金額を解答する際には単位を省略して算用数字で示すこと（漢数字や「2千」などの表記は不正解とする）。また、解答がマイナスになる場合には、数字の前に「△」をつけて「△1,000」のように記載すること。
- ◇次の勘定科目は「会計基準」に定められた貸借対照表科目及び事業活動計算書科目の一部である。特に指示のない限り、解答に使用する勘定科目はこの中から選択すること。勘定科目の名称は、下記の通りに記載すること（略字や、同じ意味でも下記と異なる表記はすべて不正解とするので注意すること）。

**貸借対照表科目**

（資産の部）

現金預金 有価証券 事業未収金 未収金 未収補助金 貯蔵品 立替金 前払金 前払費用  
 1年以内回収予定長期貸付金 短期貸付金 仮払金 土地 建物 構築物 機械及び装置  
 車輛運搬具 器具及び備品 ソフトウェア 投資有価証券 長期貸付金

（負債の部）

短期運営資金借入金 事業未払金 その他の未払金 1年以内返済予定設備資金借入金  
 1年以内返済予定長期運営資金借入金 1年以内支払予定長期未払金 預り金 職員預り金  
 前受金 仮受金 賞与引当金 設備資金借入金 長期運営資金借入金 退職給付引当金 長期未払金

（純資産の部）

基本金 国庫補助金等特別積立金 次期繰越活動増減差額

**事業活動計算書科目**

（収益の部）

介護保険事業収益 老人福祉事業収益 児童福祉事業収益 保育事業収益 就労支援事業収益  
 障害福祉サービス等事業収益 生活保護事業収益 医療事業収益 経常経費寄附金収益  
 借入金利息補助金収益 受取利息配当金収益 施設整備等補助金収益 施設整備等寄附金収益  
 長期運営資金借入金元金償還寄附金収益 固定資産売却益

（費用の部）

役員報酬 職員給料 職員賞与 賞与引当金繰入 非常勤職員給与 退職給付費用 法定福利費  
 給食費 介護用品費 保健衛生費 医療費 被服費 教養娯楽費 日用品費 保育材料費  
 本人支給金 水道光熱費 燃料費 消耗器具備品費 保険料 賃借料 教育指導費 就職支度費  
 葬祭費 車輛費 福利厚生費 職員被服費 旅費交通費 研修研究費 事務消耗品費 印刷製本費  
 修繕費 通信運搬費 会議費 広報費 業務委託費 手数料 土地・建物賃借料  
 租税公課 保守料 渉外費 諸会費 減価償却費 国庫補助金等特別積立金取崩額 徴収不能額  
 支払利息 基本金組入額 固定資産売却損・処分損 国庫補助金等特別積立金積立額

試験会場番号		
--------	--	--

# サンプル問題

## 社会福祉法人経営実務検定試験

### 解答用紙

## 会計3級

(令和〇年〇〇月〇日施行)

所 属	該当する項目に☑をご記入ください <input type="checkbox"/> 社会福祉法人役員 <input type="checkbox"/> 会計事務所職員 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人（社協以外）職員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 社会福祉協議会職員 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 金融機関職員 <input type="checkbox"/> 会社員（役員を含む） <input type="checkbox"/> その他（                      ）				
		氏 名		得 点	

一般財団法人総合福祉研究会  
公益社団法人全国経理教育協会

1

		解答記入欄
(1)	ア	
	イ	
	ウ	
	エ	
(2)	オ	
	カ	
	キ	
(3)	ク	
(4)	ケ	
	コ	
(5)	サ	
(6)	シ	
	ス	
	セ	
	ソ	
	タ	
	チ	
(7)	ツ	
	テ	
	ト	

1	
---	--

2

(単位省略)

	借 方		貸 方	
	勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				
(7)				
(8)				
(9)				
(10)				

2	
---	--

3

	資金収支計算書	事業活動計算書
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		
(8)		
(9)		
(10)		

3	
---	--

4 (単位省略)

現金預金

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	60,321

事業未収金

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	0

未収補助金

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	1,000

基本財産建物

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	16,897

車輛運搬具

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	5,823

事業未払金

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	2,984

その他の未払金

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	0

職員預り金

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	0

1年以内返済予定設備資金借入金

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	6,500

介護保険事業収益

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	82,567

経常経費寄附金収益

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	325

職 員 給 料

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差 引 残 高
3 1	前月繰越	—	—	34,891

非 常 勤 職 員 給 与

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差 引 残 高
3 1	前月繰越	—	—	13,896

派 遣 職 員 費

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差 引 残 高
3 1	前月繰越	—	—	10,895

車 輛 費

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差 引 残 高
3 1	前月繰越	—	—	10,895

事 務 消 耗 品 費

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差 引 残 高
3 1	前月繰越	—	—	2,895

業 務 委 託 費

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差 引 残 高
3 1	前月繰越	—	—	8,159

減 価 償 却 費

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差 引 残 高
3   1	前月繰越	—	—	5,120

支 払 利 息

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差 引 残 高
3   1	前月繰越	—	—	1,905

4	
---	--

サンプル問題  
社会福祉法人経営実務検定試験  
標準解答  
会計3級

(令和〇年〇〇月〇日施行)

受験番号		氏名		得点	100
------	--	----	--	----	-----

1

		解答記入欄
(1)	ア	流動資産
	イ	流動負債
	ウ	引当金
	エ	貯蔵品
(2)	オ	事業活動
	カ	施設整備等
	キ	その他の活動
(3)	ク	純資産
(4)	ケ	資産
	コ	負債
(5)	サ	総勘定元帳
(6)	シ	10
	ス	有形
	セ	無形
	ソ	土地
	タ	定額
	チ	定率
(7)	ツ	事業計画
	テ	拠点
	ト	補正予算

1	20
---	----

2

(単位省略)

	借 方		貸 方			
	勘定科目	金 額	勘定科目	金 額		
(1)	事業未収金	500	介護保険事業収益	500		
(2)	職員預り金	50	現金預金	50		
(3)	設備資金借入金	800	/	/		
	支払利息	20				
(4)	器具及び備品	60	/	/		
	事務消耗品費	5				
(5)	固定資産売却損・処分損	10	車両運搬具	10		
(6)	仮払金	8	現金預金	8		
	旅費交通費	6	仮払金	8		
	現金預金	2	/	/		
(7)	賞与引当金繰入	300			賞与引当金	300
(8)	職員給料	1,050			職員預り金	160
	非常勤職員給与	480	現金預金	1,370		
(9)	現金預金	100	施設整備等寄附金収益	100		
(10)	事業未払金	43	現金預金	43		

2	20
---	----

3

	資金収支計算書	事業活動計算書
(1)	○	○
(2)	×	○
(3)	○	×
(4)	○	×
(5)	○	×
(6)	×	○
(7)	○	○
(8)	×	○
(9)	×	×
(10)	○	○

3	20
---	----

**4** (単位省略)

現金預金

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	60,321
1	事務消耗品費		235	60,086
3	未収補助金	1,000		61,086
10	諸口		7,135	53,951
17	車両費		453	53,498
18	経常経費寄附金収益	800		54,298
20	諸口		4,025	50,273
31	事業未払金		530	49,743

事業未収金

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	0
31	介護保険事業収益	7,575		7,575

未収補助金

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	1,000
31	現金預金		1,000	0

基本財産建物

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	16,897
31	減価償却費		420	16,477

車両運搬具

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	5,823
15	その他の未払金	896		6,719
31	減価償却費		60	6,659

事業未払金

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	2,984
20	派遣職員費		1,100	4,084
31	業務委託費		785	4,869
31	現金預金	530		4,339

その他の未払金

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	0
15	車輛運搬具		896	896

職員預り金

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	0
20	諸口		520	520

1年以内返済予定設備資金借入金

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	6,500
10	現金預金	6,500		0

介護保険事業収益

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	82,567
31	事業未収金		7,575	90,142

経常経費寄附金収益

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3 1	前月繰越	—	—	325
18	現金預金		800	1,125

職 員 給 料

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3   1	前月繰越	—	—	34,891
20	諸口	3,250		38,141

非 常 勤 職 員 給 与

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3   1	前月繰越	—	—	13,896
20	諸口	1,295		15,191

派 遣 職 員 費

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3   1	前月繰越	—	—	10,895
20	事業未払金	1,100		11,995

車 輜 費

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3   1	前月繰越	—	—	10,895
17	現金預金	453		11,348

事 務 消 耗 品 費

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3   1	前月繰越	—	—	2,895
1	現金預金	235		3,130

業 務 委 託 費

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差引残高
3   1	前月繰越	—	—	8,159
31	事業未払金	785		8,944

減 価 償 却 費

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差 引 残 高
3 1	前月繰越	—	—	5,120
31	諸口	480		5,600

支 払 利 息

4年 月 日	摘 要	借 方	貸 方	差 引 残 高
3 1	前月繰越	—	—	1,905
10	現金預金	635		2,540

: 現金預金 4 点

: その他 2 点

4	40
---	----